



●NIAの予定 9月～10月●

10月1日(月), 3日(水), 4日(木) あすなろ会「華道体験教室」

●学習者紹介●

- ①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ①ピムディ アーイ(水)
- ②タイ、バンコク
- ③旅行、料理、読書
- ④本多 郁子



- ①ナチーリン ショティ(木)
- ②ネパール、カトマンズ
- ③ショッピング、友達との会話
- ④清水 幸枝



●七夕とスピーチ茶話会 7月2日(月)●

干 邇 学習者(月) 中国出身

三河孝子先生と一緒に参加しました。最初に参加者全員で七夕の歌を合唱して、イベントの雰囲気をも盛り上げました。私たちが学習者は、お星さまへの願い事を短冊に書き、皆さんの前で読み上げた後、楽しそうに笹の葉に吊るしました。皆さんのスピーチを聞いてみると、「日本語の勉強を一生懸命したいと思う気持ちが強い」と感じました。私も準備してきたお話を大きな声で力強く、思った通りスピーチすることができました。



日本の伝統行事である七夕とスピーチを通して、相互親睦と国際交流の絆を深めることができた一日でした。



三河孝子さん 干 邇さん

●日本語ボランティア研修会 7月18日(水)●

伊藤 幸子 日本語ボランティア(月)

前回に引き続き吉田聖子先生をお招きし、「入門から上級まで、日常生活で避けては通れないカタカナ語」というテーマで講義していただきました。



まず、現状と問題点を明らかにした後、カタカナ語の成り立ちから本来の役割まで確認しました。グループワークでは、増え続けるカタカナ語について話し合い、言葉が変化していく様子に改めて気付かされました。また、初級から上級まで、それぞれ取り上げるべき言葉や具体的な活動方法については、ぜひこれから取り入れていきたいと思えます。

猛暑の中の講義でしたが、ボランティア同士でお互いの現状を話したり知識を深めた、有意義な一日でした。

●きらっとサンバを踊って爽快な夜 7月15日(日)●

石井 美奈子 日本語ボランティア(月)

当日は日本各地で35度を超える猛暑日！夕方NIA事務所に集まり、皆でパレード開始前のリハーサルを実施し、法被を着てポンポンを持って、自然にメロディーに合わせて踊れます。参加者は14名と他のグループに比べ少ないですが、意はぴったりのメンバーで、パレード会場に着いたら、気持ちは最高潮になっていました。踊り終わった後の爽快感と醍醐味は、踊った人にしか分かりません。毎回素敵な出会いに感謝しています。



●世界の料理教室 ベトナム編 7月20日(金)●

ブイティマイリエン 学習者(月)

私は17年前にベトナムのホーチミンから来ました。後藤京子先生、スタッフと一緒に準備をして、参加者と一緒にベトナム料理を作りました。とても緊張したけれど、自己紹介や料理の説明をすることができました。皆さん、初めて作る料理を美味しく、きれいに作ってくれました。ベトナムの味を楽しんでくれて、本当に嬉しかったです。私も良い勉強になりました。忙しかったけれど、楽しかったです。また機会



があれば、ぜひやりたいと思います。皆さんも、自分の国の料理を「世界の料理教室」で紹介してみませんか。

●日本語能力試験の受験申込が始まります●

- ・実施日：2018年12月2日(日) ・受験料：5500円
- ・申込期間：2018年8月27日(月)～9月26日(水)

●私のふるさと自慢⑬● ナイジェリア ラゴス



フランス ヴィワコ オルワシェイ(木)

ナイジェリアは日本の約2.5倍の国土に、アフリカで最も多い1億9千万人が住んでいます。250以上の民族と360以上の言語があり、公用語は英語です。



産業は、アフリカ最大の産油国の為、石油関連産業が中心です。農産物では、ヤマ芋、キャッサバ芋の生産量は世界一です。



アメリカ、インドに次ぐ世界三番目の映画大国で、「ノリウッド」映画と言われています。学校制度は日本と同じ6-3-3-4制で、高校卒業の約40%は大学に進学します。



ラゴスは東京同様、政治・経済・商業・文化の中心地で、各交通手段も発達しています。



主食は、ヤマ芋、キャッサバ芋、プランテンバナナを餅のようについて、手でちぎりながら、スナップスープという辛いスープにつけて食べます。



ナイジェリアの料理

北東部にあるヤンカリ国立公園では、アフリカゾウ、ライオン、ヒョウ、キリンなどの野生動物が生息していて、観光スポットの一つになっています。

ラゴス(ヨルバ族)の伝統的なお祭り「Eyo(エヨ)フェスティバル」は、王宮で高位の人が亡くなった時の埋葬の儀式として

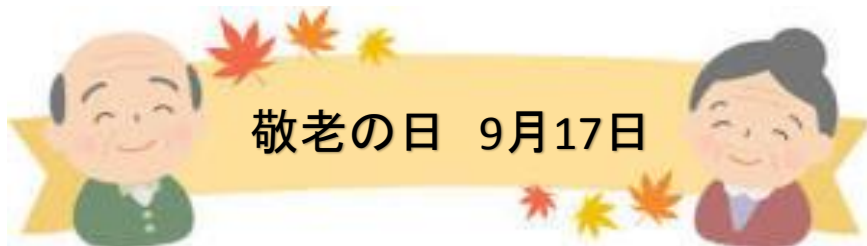


白い仮装は死者の精神を表す (Eyo)



行われていましたが、最近では観光イベントとして町を挙げて行われています。ヨルバの神々を具象化して祀ってある原生林の「オショボの森」は、世界遺産に登録されています。聖なる川の川辺には、女神「オシュン」の石造が建っています。

ナイジェリアの人は、品質の良い日本の車や電化製品が大好きです。国民は社会的で、すぐに友だちができます。「どうも」という挨拶の言葉は、私達も日本と同じ意味使います。



敬老の日 9月17日